

## 監督者会議での指示事項（中学校）

- 1 大会開催までに保護者の同意書を得る。  
(同意書はチームで保管するとともに写しを連盟へ提出してください。)
- 2 試合球は、試合前に各チーム2球ずつ用意する。
- 3 適用規則は本年度版公認野球規則を適用する。
- 4 出場選手は本年度連盟に正規に登録された選手であること。
- 5 各チームは試合開始予定時刻の30分前までに到着し、メンバー用紙を提出する。
- 6 ベンチへ入ることができるのは、監督・コーチ・選手とスコアラー及び部長・マネージャーとする。
- 7 背番号は監督30番、コーチは29番と28番、主将は10番を必ずつけること。背番号をつけないコーチはグラウンドに出られない。
- 8 投手の健康維持を考慮し、投球制限を設ける。
  - ・投球数の制限とし、1日100球までとする。
  - ・打者への投球中に100球に達した場合には、その打者の打席が完了するまで投球できる。
- 9 スパイクは全員同色が望ましい。金属製金具のついたスパイクも使用できる。(監督・コーチも)
- 10 試合は7回戦で時間制限(1時間30分)とする。延長戦は7回または1時間30分を超えて同点の時、タイブレーク方式(無死1塁・2塁)にて1回のみ行い、それでも同点の時は試合終了時に出場していた守備位置同士の抽選で決める。(○×方式)
- 11 得点差によるコールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差とする。降雨・日没等で試合続行不可能の時は、4回終了以降は試合が成立しコールドゲームとする。
- 12 次打者は必ず次打者席に入る(投手も)。
- 13 攻守交代の際、試合ボールは必ず投手板の上へ置く。(ころがさない)
- 14 バッテリーの練習の時(ブルペンでも)捕手は必ずマスクを着用する。
- 15 試合に出場する捕手、及びブルペンの捕手はファウルカップを着用する。
- 16 ヘルメットは両耳のあるものを使用する。  
(フェイスガード付きヘルメットはSG(Safe Goods)基準を満たす製品であれば使用を認める)
- 17 サングラスの使用を認める。投手はミラーレンズの使用はできない。  
※監督・コーチは選手と同じ姿であることが望ましい。
- 18 競技者必携の「試合中の禁止事項」や「競技者のマナーに関する事項」の遵守に努める。
  - ・選手や審判員に対する聞き苦しい野次は厳禁する。またスタンドからの応援団の野次および目に余る行為はチームの責任とする。
  - ・投手が投球動作を開始したら、投手の動揺を誘うような声を発しない。
- 19 抗議は当事者か主将がすること。
- 20 メガホンは各チーム1個に限り使用できる。
- 21 試合中、選手に不慮の事故が起き、一時走者を代えないと試合の中断が長引くと審判が認めた場合、臨時代走者を出すことができる。  
代走者は試合に出場している選手に限られるが、投手を除いた選手のうち、
  - ①打者が死球などで負傷した場合は、打撃の完了した直後の者
  - ②塁上の走者が負傷した場合は、その時の打者を除く打撃を完了した者
  - ③頭部に死球を受けた場合には、その程度を問わず、臨時代走を出す。
- 22 守備側、攻撃側とも「タイムの回数制限」(3回まで)を適用する。
  - ①捕手または内野手が投手のもとへ行くタイムの回数は3回以内とする。
  - ②監督またはコーチが投手のもとに行くタイムの回数は3回以内とする。
  - ③試合がタイブレーク方式に入ったときは、それ以前の回数に関係なく守備側、攻撃側ともに、タイム

を取ることができる。

④守備側(攻撃側)がタイム中に攻撃側(守備側)がタイムを取っても、守備側(攻撃側)のタイム中に終了すれば、攻撃側(守備側)のタイムは回数に数えない。

23 スピーディーな試合進行を図るために、攻守交代の際、特に次の点に努める。

- ①守備側は速やかに守備位置につき、投手は投球練習を開始する。
- ②捕手の装具装着は次打者席付近まで出て行う。
- ③捕手が打撃直後等により準備が遅れる際に予備捕手がない場合は、内野手が投球練習を受ける。

24 投手の準備投球中は、打者は次打者席で待機する。

25 第1試合の開始時刻はその日の試合数にかかわらず8:30とする。

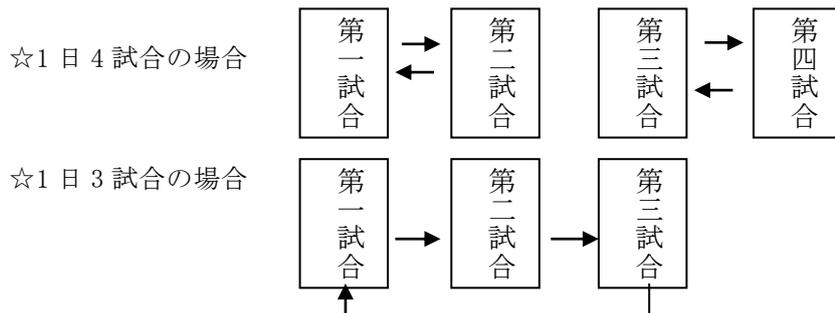
26 津島市営球場での第1試合のチームは両面とも、アップ及びキャッチボールは自チームベンチ側のフェールゾーンで行ってください。

27 学校行事は前もって連絡してください。(連絡がない場合は棄権とします)

28 雨天等により中止決定は、試合開始予定時刻 90 分前(7:00)に決めます。会場担当者の方の判断で事務局へ連絡をお願いします。各チームは事務局または会場担当者へ問い合わせください (HP 参照)  
 ※事務局 栗木一郎 090-4183-0829 奥山 巧 090-2348-8913 大河内正博 090-1747-4296

29 審判について

- ①審判としての姿に留意する。(着帽、運動靴等)
- ②試合前に球審と打合せを行う。(ダブルコールの防止や担当範囲の確認等)
- ③審判の順番は以下の通りとする。



☆1日5試合の場合 1試合目の審判は連盟で行い、2試合目からは順送りで次の試合の審判を行います。第5試合目のチームの審判割当はありません。

30 熱中症対策

- ・熱中症警戒アラートが発令された場合は、時間を短縮して行うことがあります。(5回70分)